

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員の正社員化を。

めざせ、均等待遇

なくそう差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！

# 8・6 広島原爆の日

# 未来



全労協・郵政産業労働者  
ユニオン長崎中野支部  
機関紙「みらい」  
NO. 3678  
16年8月12日(金)  
・Fax 095-828-1953



おはようございます。  
8月6日広島原爆の日、長崎同様広島でも多くの平和に関する行事が行なわれました。今回、広島平和行動に長崎から原田さん・濱崎さん・日野さんの3人が参加しました。初めての8・6広島 平和への想いを報告します。

広島原爆の日  
長崎市民として生まれ、過去40数年を原爆の日は長崎で迎えてきましたが、今回初めて広島にて平和集会を見学する経験に恵まれました。  
広島・平和公園には平和記念資料館を中心に、大きな川が流れており、その両岸にたくさん慰霊碑と広場が並び、

原爆ドームもその一角にあります。  
今日の原爆の日には、テレビで見ると平和記念式典とは別に、川沿いにたくさん建てられているその一つ一つの慰霊碑の前で、その慰霊碑の関係者が大小規模は違えど、それぞれの慰霊祭を行っていました。

またそれとは別に、全国から集結したそれぞれ思いの思想を抱えた団体が所狭しと抗議活動、平和集会、ライブ活動、リレーマラソン、ピースサイクル、右翼の街宣、左翼の集会、あらゆる全ての団体が朝の7時くらいからハンドマイクや演奏やでの大音響ですさまじい主張のぶつかり合いが私が居た原爆ドーム周りだけでも繰り広げられていました。  
そんな場所が平和記念式典の周りの川沿い至るところで行われていて、集会参加者や一般参加者、外国人観光客などが目まぐるしく行き交い、とても異様な光景でした。

しかし、8時15分：原爆落下時刻を告げる鐘が鳴った瞬間、全ての主張、大音響、人の動きがピタリと止まり、さつきまでの目まぐるしくやがましき動いていた世界が鐘の音と蝉の鳴き声だけの静寂の世界が止まったような景色に感動。

主張と考えは大きく違えど、全国からここに集まって来た人達の全ての最終の願いは平和とて事には変わりない。

一分間の黙祷の後にはそれ以前よりさらに過激に動きだした左翼デモ者や右翼集団、それを阻止する機動隊との三つ巴の怒声が飛び散る激しい衝突も至るところで行われていますが、全ては平和への熱い思いのぶつかり合い。この日、この場所、それぞれの人の平和への熱い思いがある以上、日本は間違った方向に一直線には向かない。

何も動かない何も想わない事が平和を維持するうえで一番ダメな事かもしれない。戦後71年、たくさんの方の平和への熱い思いのおかげで今日の平和な日本はある。今回、広島での平和祈念式典開催日に広島を訪問できるというユニオンで貴重な経験をさせていただきました。

前日のピースサイクルの到着歓迎集会、平和講習、また夜には全国から集まった郵政ユニオンの仲間との懇親会。



全国の郵政職場での現状や意見交換など有意義な時間を過ごしました。

また、8:15の黙祷を終えた後、行われた中部電力本社までのデモ行進と座り込み。広島でのあらゆる人達の平和活動を目の当たりにして私達長崎市民の平和活動への意識の低さに自分も含めて不甲斐ない気持ちになりました。

被爆地に生まれた責任、長崎での平和祈念式典にも全国から平和活動を行い集まっている事を重く受け止め、自分も何らかの役割を担うべきと思いました。



期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1 集-山本, 2 集-向井, 3 集-山田, 郵便-高田, ゆうちよ銀-上筋, 東-松岡, 他支部・分会の役員へ。